



## 2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成島 啓  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	3,753	7.1	964	23.3	1,025	27.5	688	△20.2
2021年12月期第2四半期	3,505	16.6	781	118.0	804	131.1	863	316.3

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 713百万円(△19.0%) 2021年12月期第2四半期 880百万円(316.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	19.76	19.46
2021年12月期第2四半期	26.46	26.01

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	10,937	8,822	80.2
2021年12月期	8,344	6,576	78.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 8,773百万円 2021年12月期 6,552百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割をしております。2021年12月期については、当該株式分割後の配当金の金額を記載しております。

## 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,727	12.1	1,942	40.9	1,894	33.4	1,352	10.6	39.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	36,269,980株	2021年12月期	34,456,080株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	235,148株	2021年12月期	235,128株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	34,862,495株	2021年12月期2Q	32,637,572株

(注) 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 中期経営計画の進捗に関する説明	3
(3) 財政状態に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動をトータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しており、当連結会計年度におきましても、ソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、戦略的な開発投資を継続して行い、企業価値の向上に注力しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は3,753,034千円（前年同期比7.1%増）、営業利益は964,444千円（前年同期比23.3%増）となりました。

また、経常利益につきましては、助成金収入23,416千円、為替差益47,189千円を計上したこと等により、1,025,829千円の経常利益（前年同期比27.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、第1四半期連結累計期間で事務所移転に伴う固定資産除却損及び賃貸借契約解約損を60,215千円計上したこと、法人税等276,655千円を計上したことにより、688,958千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比20.2%減）となりました。

第2四半期累計期間の業績は、利益面において当初予想を上回ることとなりましたが、UI/UX事業における主要な顧客である自動車関連分野の将来予測が不透明なことを踏まえ、通期の連結業績予想に変更はありません。

当社は、2022年4月11日開催の取締役会において、株式会社ワコムと資本業務提携契約を締結しました。今回の提携を通じ、これまでのパートナーシップの関係をより深め、クリエイターの皆様に新しい価値や体験を提供してまいります。詳細につきましては2022年4月11日開示資料をご参照ください。

また、子会社のカンデラが展開するUI/UX事業は、2022年後半以降の市場回復・拡大をにらみ、研究開発投資とパートナーとの提携を積極的に行っておりますが、当事業の主要な顧客である自動車関連分野は、前期に引き続き、新車開発の遅れによるモデルチェンジサイクルの長期化や、半導体不足等による生産台数の減少等を受け、厳しい事業環境が続いております。今後、このような事業環境を踏まえたうえで、将来の収益貢献見込み等を慎重に精査し、当社グループにおけるUI/UX事業の役割及び位置づけの再検討を行ってまいります。

なお、2022年5月30日開催の取締役会で、100%子会社の株式会社CLIPソリューションズの設立を決議し、6月6日付けで設立しております。詳細につきましては2022年5月30日開示資料をご参照ください。同社につきましては、実際の稼働が2022年7月以降であるため、当第2四半期連結累計期間においては、連結損益計算書に組込まれておりません。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

#### <クリエイターサポート事業>

第1四半期に引き続き第2四半期においても、子会社のセルシスがイラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」の機能向上を目的とした開発投資を行いながら、海外利用ユーザー及びサブスクリプション契約の増加を目的とした、全世界に向けたプロモーション活動を実施しております。

「CLIP STUDIO PAINT」は、2022年5月末に累計出荷本数が2,000万本を越え、6月末現在では2,100万本（前年同月比54.9%増）、そのうち75%以上が日本語以外の海外に向けた出荷となっております。また、6月末のサブスクリプション契約数は60.9万契約（前年同月比70.1%増）となり、ARR（当社がサブスクリプションから年間ベースで得られると期待できる金額）は2,173,000千円（前年同月比51.3%増）となりました。

セルシスが注力しているサブスクリプションモデルでのライセンス提供は、廉価な価格で利用開始の敷居を下げる反面、一括でまとまった金額のライセンス料を徴収する買い切りモデルに比べ、短期的には収益効果が低くなります。しかしながら、「CLIP STUDIO PAINT」への開発投資を続け、継続して利用頂くことで中長期においては安定した収益が期待できるため、引き続きサブスクリプションモデルでのライセンス提供に注力してまいります。

なお、クリエイターサポート事業は、売上の過半が日本国外からとなっております。為替の影響を受けています。各通貨に対して円安が進んでいる現状では、買い切りライセンスの販売では売上押し上げ効果はありますが、サブスクリプション契約の年払いモデルにおいては、売上を12か月に分割して計上しており、短期的な売上押し上げ効果については低くなります。また、主にドル建てで費用が発生する、クラウドサーバーインフラコストや、日本国外に出稿するWEB広告のコスト等は一括で計上され、経費の増加に繋がっています。以上のことから、為替変動の損益に対する影響額は公示されている為替レートがダイレクトに反映されることとはなりません。

当第2四半期連結累計期間においては、イラスト・マンガ・Webtoon・アニメーション制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT」が、国内発売のAndroidタブレット「Galaxy Tab S8+/ S8 Ultra」にプリインストールされて提供開始されています。バンドルされた「CLIP STUDIO PAINT」は、無料利用期間後にサブスクリプション契約を行うことで継続利用

できる形となっております。

また、5月には2021年に資本業務提携契約を締結したWEBTOON Entertainment社と協力して、近年影響力を増している縦読みマンガ形式のWebtoonコンテンツにおける「CLIP STUDIO PAINT」の価値向上をめざし、「CLIP STUDIO PAINT」にWebtoon制作に特化した新機能を搭載したアップデートを実施しました。

さらに、ピクシブ株式会社が運営するイラストコミュニケーションサービス「pixiv」の会員向け特典として提供している「CLIP STUDIO PAINT DEBUT」をリニューアルし、モバイルOSを含む全てのデバイスへの対応を行い、将来の上位グレードのサブスクリプション契約の増加が期待されます。

以上の結果、売上高は3,141,641千円（前年同期比5.7%増）、営業利益は1,141,875千円（前年同期比12.2%増）となりました。

#### <UI/UX事業>

UI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に、車載向けソフトウェア開発プラットフォーム「CGI Studio」、及び、HMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア群「UI Conductor」を中心とする自社IP製品の開発に注力しております。

子会社のカンデラは、2022年後半以降の市場回復・拡大をにらみ、研究開発投資とパートナーとの提携を積極的に行っておりますが、当事業の主要な顧客である自動車関連分野は、前期に引き続き、新車開発の遅れによるモデルチェンジサイクルの長期化や、半導体不足等による生産台数の減少等を受け、厳しい事業環境が続いております。

当第2四半期連結累計期間では、世界に向けて最新技術・製品を発信する自動車技術者のための展示会「人とするまのテクノロジー展 2022 YOKOHAMA」、MathWorks社主催の展示会「MATLAB EXPO 2022 JAPAN」、ドイツで開催された組み込み業界における最新の製品と技術を体験できる国際的展示会「Embedded World 2022」等に出展し、パートナー企業と協業で自動車業界や日常的な家電等を展開するメーカー向けに最新技術の「CGI Studio」のデモを展示、積極的に営業活動を行っております。

売上高は611,393千円（前年同期比16.2%増）、営業損失は183,513千円（前年同期は273,594千円の営業損失）となりました。

なお、2021年第2四半期連結累計期間末における連結損益計算書では、連結子孫会社であった株式会社エイチアイの2021年2月末日までの数値を含んでおります。

### (2) 中期経営計画の進捗に関する説明

2020年11月6日に発表いたしました中期経営計画で見込んでいる、2022年12月期のグループ売上8,110百万円、営業利益1,880百万円の計画に対し、当第2四半期連結累計期間の実績は、売上3,753百万円（進捗率46.3%）、営業利益964百万円（進捗率51.3%）となりました。

### (3) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて2,592,689千円増加し10,937,359千円となりました。この主な要因は、償却により技術資産が51,155千円、本社事務所の集約により敷金及び保証金が35,956千円減少したものの第3者割当増資の実施等により現金及び預金が2,151,286千円、未収入金が200,902千円、ソフトウェアが174,944千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて346,247千円増加し2,114,731千円となりました。この主な要因は、買掛金が21,631千円、役員退職慰勞引当金が3,930千円減少した一方で未払法人税等が96,486千円、前受金が114,927千円、賞与引当金が113,358千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて2,246,441千円増加し8,822,628千円となりました。主な要因は、第3者割当増資等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ800,698千円ずつ増加したこと、利益剰余金が595,234千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、80.2%となりました。

### (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績は、利益面において当初予想を上回ることとなりましたが、2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、UI/UX事業における主要な顧客である自動車関連分野の将来予測が不透明なことを踏まえ、2022年2月10日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,725,389	7,876,675
売掛金	363,293	404,174
製品	9,412	9,712
仕掛品	16,314	17,173
原材料及び貯蔵品	29,106	53,123
未収入金	299,058	499,961
その他	131,057	196,562
貸倒引当金	△130	△136
流動資産合計	6,573,502	9,057,246
固定資産		
有形固定資産		
建物	170,309	178,939
減価償却累計額	△49,924	△53,690
建物(純額)	120,385	125,249
工具、器具及び備品	308,640	318,850
減価償却累計額	△218,891	△231,615
工具、器具及び備品(純額)	89,748	87,234
有形固定資産合計	210,133	212,483
無形固定資産		
ソフトウェア	906,734	1,081,679
ソフトウェア仮勘定	3,488	5,487
顧客関連資産	62,122	48,317
技術資産	230,200	179,044
その他	76,248	84,879
無形固定資産合計	1,278,793	1,399,407
投資その他の資産		
投資有価証券	28,119	32,566
敷金及び保証金	166,504	130,548
繰延税金資産	76,134	93,223
その他	19,105	19,909
貸倒引当金	△7,624	△8,025
投資その他の資産合計	282,240	268,222
固定資産合計	1,771,167	1,880,113
資産合計	8,344,670	10,937,359

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	120,109	98,477
未払金	108,576	106,570
前受金	560,107	675,034
未払費用	159,769	176,080
未払法人税等	218,140	314,626
返品調整引当金	1,614	—
賞与引当金	64,378	177,737
その他	171,539	180,817
流動負債合計	1,404,236	1,729,344
固定負債		
役員退職慰労引当金	140,980	137,050
退職給付に係る負債	221,697	247,411
その他	1,569	924
固定負債合計	364,247	385,386
負債合計	1,768,484	2,114,731
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,275,761	3,076,460
資本剰余金	1,754,888	2,555,587
利益剰余金	2,676,615	3,271,849
自己株式	△186,550	△186,564
株主資本合計	6,520,715	8,717,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,113	14,984
為替換算調整勘定	19,253	40,687
その他の包括利益累計額合計	31,366	55,672
新株予約権	24,103	49,621
純資産合計	6,576,186	8,822,628
負債純資産合計	8,344,670	10,937,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,505,672	3,753,034
売上原価	1,631,079	1,583,703
売上総利益	1,874,592	2,169,330
返品調整引当金戻入額	557	—
返品調整引当金繰入額	1,768	—
差引売上総利益	1,873,381	2,169,330
販売費及び一般管理費	1,091,440	1,204,886
営業利益	781,941	964,444
営業外収益		
受取利息	351	22
受取配当金	6	12
助成金収入	28,539	23,416
為替差益	—	47,189
その他	3	0
営業外収益合計	28,900	70,642
営業外費用		
株式交付費	—	7,790
為替差損	4,462	—
その他	1,673	1,465
営業外費用合計	6,135	9,256
経常利益	804,706	1,025,829
特別利益		
関係会社株式売却益	205,651	—
新株予約権戻入益	434	—
特別利益合計	206,085	—
特別損失		
固定資産除却損	—	11,267
賃貸借契約解約損	—	48,947
特別損失合計	—	60,215
税金等調整前四半期純利益	1,010,792	965,613
法人税等	147,023	276,655
四半期純利益	863,768	688,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	863,768	688,958

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	863,768	688,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,683	2,870
為替換算調整勘定	14,385	21,434
その他の包括利益合計	17,069	24,305
四半期包括利益	880,838	713,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	880,838	713,264
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月28日付で、株式会社ワコムから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が800,660千円、資本準備金が800,660千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,076,460千円、資本準備金が2,326,460千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,971,498	526,174	3,497,672	8,000	3,505,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,971,498	526,174	3,497,672	8,000	3,505,672
セグメント利益又は損失(△)	1,018,144	△273,594	744,550	37,390	781,941

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、「UI/UX事業」を構成していた株式会社エイチアイの全株式を譲渡したため、株式会社エイチアイを連結の範囲から除外しております。なお、前連結会計年度末において、当該資産は「UI/UX事業」セグメントに597,765千円計上されております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,141,641	611,393	3,753,034	—	3,753,034
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,141,641	611,393	3,753,034	—	3,753,034
セグメント利益又は損失(△)	1,141,875	△183,513	958,361	6,082	964,444

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。